平成21年度　千葉市青少年問題協議会
第１回　健全育成部会　議事録（議事要旨）

１　日　時　　平成２１年　７月　６日（月）午後２時～午後３時１５分
２　場　所　　千葉ポートサイドタワー　１２階　教育委員会第２会議室
３　出席者　　千葉市青少年問題協議会　健全育成部会委員

1	千葉家庭裁判所主任家庭裁判所調査官	千葉　美樹
2	千葉市ＰＴＡ連絡協議会代表	田野　薫
3	千葉市社会教育委員会議代表	菊池　まり
4	千葉市保護司会連絡協議会代表	村上　佼正
5	千葉市体育協会代表	三橋　秋義
6	千葉市体育指導委員連絡協議会代表	新井　貞男

事務局
三野宮　純一 青少年課長、志賀　みき江 課長補佐、渡邉　博典 課長補佐、
成毛　博光 補導センター所長、秋葉　光太郎 主査、橋本　高良 主査補、
岩野　桂子 主事

４　議　題
（１）報　　告
・青少年育成行動計画の進捗状況について
（２）協　　議
・次期青少年育成行動計画の基礎調査について
・青少年健全育成功労者表彰式における宣言文について

５　議事の概要
（１） 委員の紹介
（２） 議長選出　　新井委員
（３） 青少年育成行動計画の進捗状況について（報告）
事務局より、８つの基本目標に基づき報告。
報告事項における質疑等

発言者	発言内容
議長	事務局の説明について、質問、意見をとる。
委員	八都県市で作成したポスター（300部）はどこに配布しているのか。
事務局	市内小中学校に配布している。
委員	関東地区共同で連携とあるが、組織的なものとして、具体的にどのようなものがあるのか。

事務局	八都県市青少年行政主管課長会議として、平成２１年はさいたま市を幹事市として開催している。具体的には、さいたま市がインターネット等を介して意見や提案を集約し、さいたま市内にて協議を行っている。
委員	具体的に、現在は、さいたま市に八都県市の関係者が集まって、連絡会を持っていて、その場で提案されたこと、実施していることについて、各都県市が共有しているのか。
事務局	会議の中で、啓発等の提案があり、協議により今年度の活動をどうするのか決定していく。
委員	No.179 における若者の就職支援について、セミナーを年 3 回実施しているようだが、参加している若者は実際どれくらいいるのか。
事務局	関係課からの進捗状況調査結果として掲載しているが、現段階で青少年課では、参加者数については把握していない。
委員	家庭教育資料の配布について、どこに配布しているのか。また、どのように利用されているのか。
事務局	全市立小中学校の対象学年（小学 1 年生・5 年生、中学 1 年生）の保護者を対象に配布している。 　利用方法は、各家庭での資料としての活用をはじめ、学校により懇談会や保護者会で活用してもらっている。
委員	不登校問題について、かなり問題になっているが、統計のようなものはあるのか。また、全国的に見て、その数は多いのか。目標をどこに置くべきなのか。
事務局	データ的なものは示せないが、対応しているのは指導課である。不登校については、友人関係・家庭・教育など様々な原因が複雑に絡み合っている。千葉市では最近、若干ではあるが不登校が増加傾向にある。全国的にみると、ほぼ全国並みという状況である。 No.60 の適応指導教室は、本市が独自に不登校の子供たちに対し、ライトポートなどを通して、生活・学習に慣れ、本来の学校に戻ることを目的として設置している。
委員	不登校は全市的な課題であると思われる。学力・いじめ・家庭などいくつかの要因があると思うが、家庭の問題については指導しても改善できなかった例もある。
事務局	不登校への対応は非常に難しい問題であるが、市内では、相談機関として、子ども・親を対象に、教育センター、養護教育センター、児童相談所、24 時間の電話相談、補導センターにおけるサポート事業など、様々な対応が展開されている。

5　協議事項

・　次期青少年育成行動計画の基礎調査について

平成 20 年 3 月に策定された「千葉市青少年育成行動計画」は、第 2 次 5 カ年計画を補完・連携し、「千葉市次世代育成支援行動計画」、「第 3 次千葉市生涯学習推進計画」との整合を図り、22 年度までの計画となっている。しかし、策定から間もないこともあり、次期行動計画については、現行の計画を基に、時代に則した背景や必要に応じた改定にとどめたいと考えている。そこで、21 年度は次期計画策定に向けた基礎調査として、児童・生徒及び青少年の学校家庭・地域における生活に対する意識と行動の実態を明らかにするとともに、保護者の悩みなどを把握したい。調査については、前回（平成 18 年度の調査）とほぼ同内容で、経年比較をする。軽微な修正により実施したいと提案があった。

協議内容

発言者	発言内容
議長	今回の調査が、現行の「千葉市青少年育成行動計画」を基に、時代に即した背景や必要に応じた改定にとどめ、経年比較をする、という点について意見等はないか。
各委員	意見なし
議長	アンケート配布対象についても意見等はないか。
各委員	意見なし
議長	7 月 27 日に開催される青少年問題協議会でも提案されるが、アンケートの内容について、なにか文言・言葉遣いなど意見はないか。
委員	p.8　問８「４　たいてい食べない」という言い方について、「ほとんど食べない」でも良いのではないか。
事務局	言葉としては、どちらの言い回しでもさほど受け取り方に影響はないと思われる。文言については、結果に大きな影響が出ないと思われるものについては、軽微な修正をさせていただきたい。 （変更例）・「携帯電話」→「ケータイ」
委員	調査方法について、青少年への調査で、各施設にて配布とあるが、どこのことか。
事務局	青少年が集まる場所と考えている。具体例としては、生涯学習センターなどを考えている。
委員	学校への調査の場合、在籍している児童・生徒を対象に、学校をピックアップして実施するのか。小中学校のほかに、専門学校、各種学校などさまざまある。専門学校、専修学校、定時制なども含まれるのか。

事務局	私学を含め無作為に選んだ複数校に依頼することで、できるだけ偏りのないデータをとりたい。
委員	18～24 歳の場合、学校という枠から離れてしまうが、何人くらいのデータがあればよいと考えているのか。
事務局	無作為に郵送して回収するのがベストだが、前回も専門学校・公民館に出入りする 700 人ほどを調査した。前回調査ほどではないが、信頼度から見た誤差を 3～5%程度とし、各学年及び青少年について 400～500 人ずつデータが取れれば良いと考える。

・ 青少年健全育成功労者表彰式における宣言文について

昭和 50 年から昨年度まで開催していた青少年健全育成推進大会が、今年度から 9 月 19 日の青少年の日フェスタの中に移行され、「千葉市青少年問題協議会青少年健全育成功労者表彰式」として開催される。そのため、決議文を宣言文とし、青少年健全育成功労者表彰式の場で宣言を採択したい旨、事務局より提案があった。

協議内容

発言者	発言内容
議長	質問・意見を求める。
委員	宣言文の途中に「いわば「市民総がかり」で」とあるが、「いわば」というのが気になるが、他の委員が気にならないならば、構わない。 宣言文の最後に、「青少年健全育成功労者表彰式参加者一同」とあるが、「青少年フェスタ参加者一同」としてはいけないのか。
事務局	フェスタの中の一部分なので、「青少年フェスタ参加者一同」とするのは望ましくない。
議長	この内容が 7 月 27 日の青少年問題協議会で改めて提案され、その場で意見等があれば修正がされることを確認。